

月刊

シルバー 人材センター

高 齢 社 会 を 生 き る

◆インタビュー 人生100年時代の高齢者〈生き方・支え方〉
一般社団法人日本健康麻将協会理事長 青木敬一

◆特集 全シ協会長表彰の優良センター訪問



2022

11

労務行政

口コミで会員が増加し 農業支援や軽作業中心に成長

公益社団法人
西海市シルバー人材センター

(長崎県)

西海市SCは、令和4年度の「全シ協会長表彰」で優良シルバー人材センターに選ばれた。その理由は、担当職員が「会員を一人にしない」をモットーにきめ細かに対応し、退会を抑制していることで、全国平均より高い粗入会率を実現。また、受託事業の就業率も全国平均より高く、労働者派遣事業の就労率は100%を維持していることなども受賞につながった。

西海市SCは、粗入会率と受託事業の就業率が全国平均よりも高く、労働者派遣事業（以下、派遣事業）の就労率が二年連続で二〇〇%を達成したことなどから、令和四年度の「全シ協会長表彰」で優良シルバー人材センターに選ばれた。

深刻化する農作業の後継者不足を会員が担う

西海市の高齢化率は三九・八%（令和四年八月末日現在）と、全国平均を上回っている。このため、農作業における後継者不足が深刻となっており、西海市SCに寄せられる農作業、剪定作業や草刈り作業の依頼は増加傾向にある。

女性会員の就業機会が拡大

近年は、西海市役所と連携している介護予防・日常生活支援総合事業も好調だ。これは、市の依頼を受け、支援を必要とする市民を対象に、室内の掃除や買い物などの簡単な作業を会員が担っている。就業は週一回一時間程度で、市の講習を受けた会員だけが就業できる。現在、就業会員は四人。令和



写真左から辻野邦彦事務局長、会員の西田美和子さんと本山啓子さん、担当職員の田中武志さん

三年度の就業延人員は五百二十六人日であった。

加えてこの数年、新規で毎年受注しているのが、福祉施設の屋内清掃や食事の配膳、シーツ交換を

含む屋内軽作業である。令和二年度の屋内清掃・屋内軽作業の契約金額は約三千五十一万五千円、令和三年度は約三千五百二十二万五千円となり、増加傾向にある。

新入会員の約四割が 口コミで入会

西海市SCの契約金額が伸びている要因の一つに、ホームページ

の活用が挙げられる。トップページでは、受注可能な仕事を紹介するとともに、経験豊富で高い技能を持つ会員が、さまざまな依頼に対応することをアピールしている。新規の仕事は、ホームページを通して発注されることが多く、就業開拓に役立つという。

センターでは、増加する依頼に対応できるように、会員拡大に力を

入れている。特に、介護予防・日常生活支援総合事業や福祉施設の屋内清掃・屋内軽作業では、女性会員の活躍が求められる。そこで令和三年度に、女性会員募集チラシを約六十枚作成。該当地域に詳しい担当職員と会員が、未入会の六十歳以上の女性が住む家を対象に、効率的にポスティングを行った。

このような取り組みとともに、会員拡大の活動で最も効果を上げているのが、会員による口コミだ。紹介者制度は設けていないが口コミによる入会者は多く、令和三年度の新入会員四十一人のうち、約四一%に当たる十七人が会員の紹介で入会した。

その背景には「できる限り、依頼に対応したい」という会員の思いがあり、特に班長は口コミ活動に積極的だ。

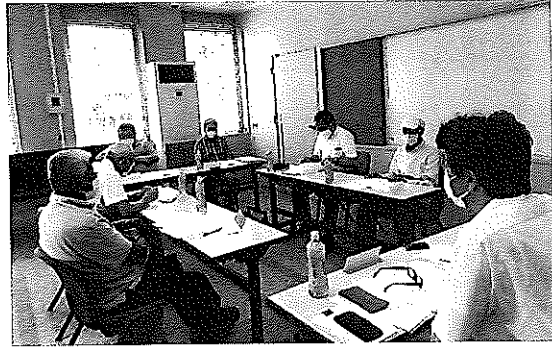
辻野邦彦事務局長は「班長は、担当職員から仕事の相談を受けた際に、その作業に対応できる会員を探す役割を担っているため、会員不足を痛感しているのだと思います」と話す。

入会希望者には即日入会説明を行っているのも、会員拡大の要因の一つだ。就業可能な会員が慢性的に不足している職種もあるため、入会翌日から就業できるように迅速な手続きを行っている。このような対応で就業会員を確保しながら



西海市SCでは、女性会員の活躍の場が増加しており、入会促進にも力を入れている。トイレ清掃（写真上）や花壇の植栽（写真下）などの就業を行うほか、清掃ボランティア等にも参加して、地域の美化に貢献している





年2回実施している安全・適正就業委員会

ら、「すぐに仕事がしたい」という新入会員の要望にも応えている。これらの取り組みによって、令和三年度の会員数は前年度より八人増加。粗入会率もこの数年は二・六%以上を維持しており、令和三年度は全国平均一・八%に対して二・八%となった。

会員一人一人に丁寧に対応し退会を抑制

新入会員の確保とともに、退会者が少ないことも会員数が安定している理由といえる。特別な制度はないが、担当職員と会員の一体感が退会抑制につながっているようだ。

例えば、受託事業の場合は会員に仕事を丸投げせず、担当職員や班長が現場を見に行き声を掛けるなど、一緒に取り組んでいるという。モットーは「会員一人一人を大切に」。

辻野事務局長は「会員任せは退会の要因になりかねないので、会

がいを感じているという。

会員を確保し地域貢献を目指す

密なコミュニケーションで会員と担当職員の間生まれた一体感と、センター運営に良い影響を与え、今回の表彰につながった。

辻野事務局長は「ひとえに会員および役員と、地域関係者の協力のおかげと感謝しています。今後、地域の皆さまの期待に応えられるようお力添えをいただきながら、会員あつてのシルバー人材センター」という認識の下、一層精進していきたいと思えます」と、受賞の喜びを述べた。

西海市SCの喫緊の課題は、農作業や草刈りといった屋外作業の就業会員の確保である。現在のところ、屋外作業が可能な会員の大半が、七十〜八十代と高齢化が進んでいる。

一方、近年の新入会員は屋外での作業経験が乏しく、敬遠する傾

と、長崎県内の市町で六番目に広い。これらの地域に住む会員一人一人をサポートするために、大瀬戸町の本部と作業所のほか、西彼町に南部支部、西海町に北部支部、大島町・崎戸町に大崎作業所を設置。担当職員を各支部に二人ずつ、各作業所に一人ずつ常駐する体制を取っている。

「会員は近くの支部や作業所に行けばいつでも職員に相談できる

向がある。改善策を講じなければ、屋外作業に対応できる会員の減少は必至だ。

また、七十歳までの就業機会の確保を促す改正高年齢者雇用安定法によって、六十代の入会者が減少することが考えられる。このことから、屋外作業だけでなく、ほかの仕事でも就業会員を確保することが厳しくなると予想される。

辻野事務局長は「会員の減少で、祭りなどの地域行事を従来通りに実施することも難しくなる」と懸念している。

「このように、伝統行事などを行う際、地域によっては運営要員を各世帯から一人出すことになっていくが、高齢者のみ世帯では困難なため、センターに依頼するケースがあるからだ。

そのためには引き続き、会員の増強、就業機会の拡大をはじめ、安全・適正就業の徹底、組織体制の強化という四つの基本計画に沿って、センターの事業を運営していく方針だ。

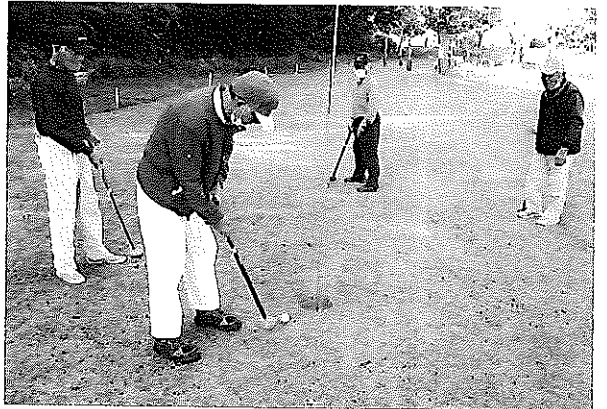
(井本句子)

事業運営状況 (平成29年度～令和3年度)

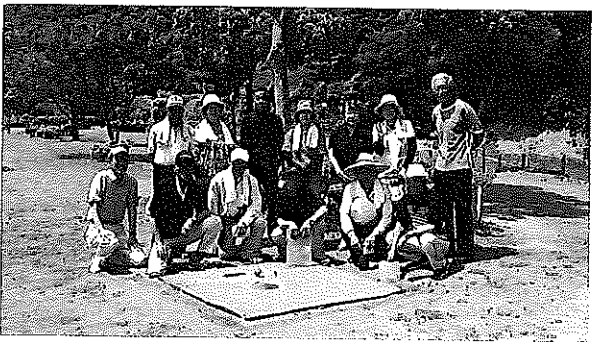
年度	会員数			粗入会率	就業実人員 (延人員)	就業率	受注件数	契約金額	公民比
	男	女	計						
平成29	173	149	322	2.5	280 (31,696)	87.0	2,099	169,343	33.8/66.2
30	180	146	326	2.6	303 (30,508)	92.9	1,958	167,046	34.7/65.3
令和元	179	150	329	2.6	293 (31,693)	89.1	2,018	179,301	35.0/65.0
2	175	163	338	2.7	288 (31,627)	85.2	1,934	176,903	31.6/68.4
3	181	165	346	2.8	308 (31,996)	89.0	2,025	179,730	33.2/66.8

※受注件数、就業実人員、契約金額は請負・委任と労働者派遣事業を合計した数値
 ※就業実人員は平成29年度まで請負・委任、平成30年度以降は請負・委任と労働者派遣事業が対象
 ※就業実人員は令和2年度から労働者派遣事業の教育訓練受講を含む

パークゴルフ大会は、会員同士が親睦を深める機会になると同時に、退会抑制にもつながっている



パークゴルフ大会は、会員同士が親睦を深める機会になると同時に、退会抑制にもつながっている



また、就業場所の下見や見積もりも班長一人に任せず、担当職員も手分けして行っている。このようなきめ細かな対応ができるのは、支部などの多さにある。

平成十七年、西彼杵郡北部の西彼町、西海町、大島町、崎戸町、大瀬戸町の五町が合併して誕生した西海市は、総面積が約二四二㎢

「大切なのは、会員を一人にしないこと。それも退会者が少ない理由だと思います」と辻野事務局長は話す。

このほか、グラウンドゴルフやパークゴルフの大会を開催しており、会員同士が親睦を深める機会

ので、会員のよりどころになっています。仕事の依頼や就業報告だけでなくとどまらない職員と会員のコミュニケーションが、退会を抑制していると感じています」と辻野事務局長。

また、各地域の担当職員は、就業や班長との交流の機会が少ない会員に、仕事を割り振るよう心掛けていく。これは、班長だけに就業会員の手配を依頼すると、頼みやすい会員に仕事が集中しやすいためという。

こうした取り組みの結果、令和三年度の受託事業の就業率は全国平均七四・五%に対して八三・二%、派遣事業は全国平均六七・七%に対して一〇〇・〇%となった。